

しいの実

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標 「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 読み聞かせ・図書室整備ボランティアがスタート

6月8日(木)からコロナ渦のため実施できずにいた読み聞かせボランティアの方による子どもたちへ本の読み聞かせをしていただきました。まずは低学年児童を対象に第2, 第4木曜日に実施していただきます。

コロナ禍の間も担任以外の教職員による読み聞かせは行っていましたが、ボランティアの方による読み聞かせは、低学年の子どもたちにとっては入学以来、初めての体験となりました。

この日は、5名の方に読み聞かせをしていただきました。どの学年もとても楽しそうに聞き入っていました。時には子どもたちとの会話もあり、ボランティアさんの個性が光る場面も拝見することができました。これからも心の栄養となる読書活動の充実のためにお力添えをお願いします。



1年



2年



3年



環境整備

さらに、午後には図書室の環境整備のための作業をしていただきました。ありがとうございました。

■ 居住地交流



解けてクラスの一員として過ごすことができていました。地元にいる同級生として、これからも仲良く交流していただけることを願っています。

三重県立聾学校へ通っている4年生児童が居住地交流で6月9日の1日を鈴西小で過ごしました。

2時限目の体育の時には、すっかり学級に溶け込んでいて、グループの一員としてマット運動に取り組んでいました。その後も給食にお昼休みの外遊びと、すっかり打ち



■ ボランティアさん、大活躍の一日



6月9日(金)午前中、2年生が町探検に行ってきました。地域の名村さんの案内で深溝方面に行きました。達磨寺に着くと、名村さんから「山門をくぐる時は、右足からか左足からか。」との問いが出され、「昔、刀を抜くとき△足を前に出していたから、逆の○足から出して、おだやかにくぐります。」と教えていただきました。さて、どちらの足から入るか、分かりますか？ 2年生の子どもたちは、「○足から！」と言いながら無事、門をくぐることができました。右足か左足か、その答えはぜひ2年生に聞いてください。

ご住職からは、好きなことについて「なぜ好きなのか」ということを忘れなければ、ずっと好きでいられることや、勉強をするとき「分からない」と言えることが大切であること、達磨さんの由来について教えていただきました。達磨さんがなぜ片目なのか、なぜ赤いのか、なぜへの字口なのか、なぜ手足がなくて丸いのか…。そこにはとても深い理由があり、子どもたちは、興味津々、最後までしっかりと話を聞いていました。



最後に、花のや製菓さんでお団子作りを見学させていただきました。お団子が焼ける様子やみたらしをつけるのを間近で見せてもらい、「はやく食べたい！」と待ちきれない様子。深溝公園でいただいたお団子は最高でした。風がとても心地よく、楽しい町探検になりました。

この日は、学校内でも「習字ボランティア」「図工ボランティア」として多くの方のご協力を得て授業を行いました。3・4年生を見ていただきましたが3年生から毛筆が



始まったばかりで準備や後片付けもまだまだ不慣れな子どもたちが大変助かりました。また、初めて電動糸鋸を使った5年生も手を添えていただくことで安心して制作できたようでした。



■ 下校について

令和5年度 学年別、曜日別の下校時刻

	月	火	水	木	金
1年	14:50	14:50	14:20	14:50	14:50
2年		15:45			
3年		14:50			
4年	15:45	15:45		15:45	15:45
5年					
6年					
形態	委員会・クラブがない場合は、地区別一斉下校 14:50	1・3年下校 2456年下校 (地区別)	地区別一斉下校	1・2年下校 3～6年下校 (複数下校)	1・2年下校 3～6年下校 (複数下校)

学校の下校は、4月に各ご家庭に案内させていただいてあるように左の表のようになっています。低学年児童(火曜日のみ1年と3年)は基本的に地区別下校になるようにしています。しかし、中・高学年は木・金曜日は教室を出る時刻を揃えることで、通学路で複数になるように「複数下校」としています。教室を出る時刻を揃えるようにしていきますので、ご家庭の方でも

「友達同士声を掛け合って複数で帰ること」「通学路を守って下校すること」を話し合ってください。